

学習の手引き

確かな学力定着のために

次代を担うみなさんには、社会の変化に流されず、当面する課題に対し、自ら学び、自ら考え、主体的に判断して解決する能力や態度が求められています。

したがって、授業を真剣に受けることはもちろん大切ですが、さらに授業以外にも主体的に学ぶことが、一層重要なのです。

確かな学力の定着のために、各教科の学び方や、家庭における学習方法・学習習慣を身につけてください。

自学自習

太田市立休泊中学校

国語科

先生からのメッセージ

国語は、勉強しなくてもあまり変わらないということはありません。とにかく「考える」ことが大切です。あきらめずに自分なりの答えを見つけようとしていくと正解に近づいていきます。記述式の問題を空欄にしないこと！

予習のしかた

・教科書を音読する。

①音読しながら、意味のわからない言葉や読み方のわからない漢字をチェックしておき、漢和辞典や国語辞典で調べる。

②新出漢字について練習をする。

③くりかえし出てくる言葉やつながり言葉、登場人物の気持ちがどのように変化したのかなどは特に注意して読みすすめるとよいでしょう。

※音読をすることで、①～③のように予習のしかたが広がっていきます。全てについて取り組むのは難しいという人でも、まずは音読から始めてみましょう。

授業の中で大切にしてほしい学習のしかた

・読めない漢字は必ず仮名をふる。（覚えていたら消しても良い。）

・音読ははっきりとよく聞こえるようにする。

・自分があとから見てわかりやすいノートにする。

（大切だと思うことは書き加える。色ペンを効果的に使う。）

・質問に対して自分なりの答えを出せるように考える。

（わからないからと他の人が答えるのを待っていてはいけない。）

復習のしかた

・教科書を音読する。

①授業で勉強したことを思い出しながら、ノートを見直す。

②新出漢字の練習や授業での課題などに取り組む。

※復習についても、予習とあまり変わりありません。復習では授業の内容をしっかりと思い出しましょう。ここでも、音読を中心にして、登場人物の心情や段落どうしの関係などをしっかりと整理しておくことが大切です。

テスト前の学習のしかた

・国語のワークで文章の読み取りの問題の復習をする。

・文法・漢字の学習などの問題は教科書・国語のワーク・プリントからも出題があるので復習しておくこと。

・文法は入念に復習する。正確に暗記、理解しているかチェックする。

・古典は音読、意味の確認をしっかりとしておく。

※テストが返ってきたら、必ず復習しよう。自分の答えがどうしてまちがったのかを考えることが次のテストにむすびつく。

数学科

先生からのメッセージ

数学は、さまざまな知識の中から適切な解決法を探し、解き、答えが出たり証明できたりするというおもしろさがあります。でも、スムーズに解けずに悩んだり、数学嫌いになったりしてしまう人も多いと思います。そんなとき、自分の力を信じてあきらめずに解いてみましょう。問題が解けたときの達成感は最高ですよ。これを感じれば、必ず数学が好きになるはずです。

予習のしかた

- ①最低限、次時の内容を読んでおく。太字の意味を理解しようとする。
- ②簡単な問題（例題）をやってみる。つまずいたところにチェックをいれておきましょう。

授業の中で大切にしてほしい学習のしかた

- ①チャイム着席は当たり前。授業の準備を完璧に（忘れ物もゼロに）
- ②授業の内容は100%理解しようと努力する。
- ③「話や説明を聞く」ときと、「ノートをとる、問題に取り組む」ときの区別をしっかりとすること。大事なことを聞き逃してしまわないように。聞く方を優先すること。
- ④授業でわからなかったことは、その日のうちに解決する。
- ⑤問題を解き、「自分には無理だ。」とあきらめないうで、ねばり強く取り組む。

復習のしかた

- ①宿題は必ずやる。答え合わせまでして提出する。
- ②授業中、時間が足らないうでできなかった問題に挑戦する。
- ③間違った問題はもう一度チャレンジする。
- ④宿題でなくとも、基本・章の問題を積極的に挑戦してみよう。

テスト前の学習のしかた

【定期テスト対策】

教科書は基礎・基本的な内容が中心です。授業中、間違った問題や解けなかつた問題を中心に、見直しておきましょう。

※テストでは類似問題を出題しています。

【実力テスト対策】

簡単に解ける問題から、少し頑張らなければ解けない問題へとレベルアップしてみましょう。

※章の問題Bを利用してください。

社会科

先生からのメッセージ

社会科は、みなさんが社会の一員として、社会の中でよりよく生きることができる力を身につけることが社会の学習の目的です。社会科が、身近なものに感じられたら、これからの生活の中できつと生きてくるでしょう。

予習のしかた

- ・前もって教科書を読んで、わかるところわからないところを確認しておく。
- ・世の中の出来事に関心を持ち、新聞やテレビ等のニュースを進んで見る。

授業の中で大切にしてほしい学習のしかた

- ・授業中は集中し、友だちの意見にもしっかり耳をかたむける。
- ・黒板の内容をノートに写すのはもちろん、教師の説明や友だちの意見もノートにメモしたり、書いたりしておく。
- ・わからないことは、先生や友だちに質問して、授業中（その日のうち）に解決する。
- ・毎日の授業が全ての勉強の基本です。学力を向上させるためのもっとも重要な時間であることをよく知っておいて下さい。

復習のしかた

- ・学習したことをもとに自分で考え、自分のことばで説明できるようにする。
- ・ノートをまとめなおしたり、教科書で確認する。必要であれば、教科書や資料集の図や表なども書き加えておく。（参考書にまけないオリジナルのノートをつくろう。）
- ・（授業の内容をこえたものであっても）興味をもった人物や事柄などについて、自分でどんどん調べよう。

テスト前の学習のしかた

- ・重要語句等に注意しながら教科書を読み直す。
- ・図、表にも注目する。
- ・ノートを見直す。ノートを見ながら授業を思い起こして要点の確認をする。
- ・プリント、問題集、ワークをやり直す。プリント、問題集、ワークは、「1度やったら終わり」ではなく、何度もやり直してみる。特に間違えたところはしっかり確認しておく。

理科

先生からのメッセージ

理科の学習内容は、実験や観察、身近な現象を当たり前と決めつけず、「なぜ?」「どうして?」と考えながら、実験や観察に積極的に取り組むことが大切です。今まで知らなかったことを発見することが理科の楽しみです。小さな発見をたくさんしよう!

予習のしかた

日頃から理科に関係するいろいろな図鑑や、資料集、テレビの科学番組など視聴から入る情報に興味・関心を持つ。とりあえず見てみよう。

授業の中で大切にしてほしい学習のしかた

- ①忘れ物をしない。～当たり前だけど、大切なこと～
- ②失敗をおそれず発言、質問する。
～どんな科学者だって、失敗をくり返して新しい発見をしてきた。だから、間違いは、自分やみんなが成長するために必要なこと～
- ③理科室での授業（観察・実験）は、安全第一。
～よく聞いて、よく見て、内容を十分理解して能率良く、全員参加～
- ④ノートは黒板を写すだけでなく、先生の話もメモをとる。
～ノートはメモ書きができるように、ゆったりと使う～
- ⑤重要な内容は、語句だけでなく、図や表と一緒に覚える。
～重要な語句は声に出して読んで丸暗記。重要な図や表は丸写し～

復習のしかた

- ・その日のうちに家で授業の見直しをする。授業で使ったワークシートは、ノートに貼り、教科書を見ながら大切なことを書き加えるとよい。
- ・宿題は後回しにせず、出た日にする。絶対に忘れないこと。
- ・ワークは、授業にあわせて進めておくこと。テスト直前にまとめてやるのは大変です。間違った問題には印をつけ、あとでやり直しをする。
- ・定期テストやミニテストは間違いを正しく覚え直してから、保存しておく。

テスト前の学習のしかた

ステップ1

教科書がスラスラ読めるように。太字の語句（意味も）は書いて暗記。公式（単位）は重要。ワークはテストまでに3回以上くり返す。

ステップ2

ワークと似たような問題を解いて、できるか確認。教科書にのっている実験は、見なくても実験できるように。

ステップ3

応用問題に取り組み、学習内容がどのような場面で問題になるのか知る。

英語科

先生からのメッセージ

英語は、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4つの領域があります。目、口、耳、手を十分に活用し、積極的に授業に参加しよう。楽しんで使うことが、一番の上達法。たくさん聞いて、読んで、話して、書きましょう。

予習のしかた

- ・単語を覚えよう！

中学校の英語はまず単語を覚えないと、次の学習が始まりません。五感をフルに発揮して覚えましょう。①目でよく見て、②耳で発音を聞き、③自分の口で発音しながら、④何度も書くのがいい方法です。

- ・教科書の本文を読んだり、書いたりしよう！

本文を読んだり、書いたりすることで、その内容を理解することができます。すると、授業がよりわかりやすくなるはずです。また、予習でわからないことがあっても、次の授業で「何を理解すればよいのか」がわかり、授業への意欲も高まります。

授業の中で大切にしてほしい学習のしかた

- 発音の練習時には、自分の声が聞こえるような音量で、単語や文を読む。
- ペアワークに積極的に取り組み、文法の復習やコミュニケーションの練習をする。
- 説明をよく聞き、新しく出てきた文法事項を理解する。
- わからないところはその場で質問し、わからないままにしない。
- ☆英語は習ったことをもとに次の単元に入っていきます。1年からの積み重ねがとても大事です。はじめは覚えることがたくさんあり、大変だと思うかもしれませんが、ねばり強く頑張りましょう。

復習のしかた

- ・たくさんの例文に触れよう！

教科書の本文やワークの例文を、とにかく書いたり読んだり覚えたりしてみよう。正しい文に何度も触れると、だんだん正しい文のカタチがどんなものなのかわかってくる。正しい英文が頭の中に入っていれば、自分で英文を書くときにも、それを参考にして文を作ることができます。

- ・実際に英語を使ってみよう！

授業中に音読を一生懸命やったり、挙手して発言することはもちろん、「これは使える！」と思った文はまるごと覚えて積極的に使ってみましょう。会話練習の時やALTの先生と話をする時に使ってみたり、英語で日記を書いてみるのもいいです。

テスト前の学習のしかた

- 教科書を音読して、単語や熟語、基本文をしっかりと覚える。
- 配付されたプリントにもう1度取り組み、できなかったところの見直しと、わからなかった単語の覚え直しをする。
- ワークにくり返し取り組み、わからない問題をなくしておく。